

市の財政状況

市の予算は、「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つの会計からなっています。

- 一般会計・・・市が行う仕事の中心となる部分の会計です。
学校の校舎改修やごみの収集、福祉サービスの提供などさまざまな目的に使われていて、市税などが主な財源となっています。
- 特別会計・・・特定の収入（保険料や使用料など）で、その仕事の支出を賄う会計です。
介護保険事業や国民健康保険事業などがこれに該当します。
- 企業会計・・・その仕事自体に収益（使用料）があり、その収益で支出を賄う独立採算制の会計です。水道事業などがこれに該当します。

形式収支・・・歳入決算総額から歳出決算総額を単純に差し引いた額です。
実質収支・・・前記の形式収支から翌年度へ繰越すべき財源を控除した額です。
※ 翌年度へ繰越すべき財源とは、次年度へ繰越した事業の収入済（負担金等）の財源と一般財源分の合計額を言います。

都城市公告第170号

都城市財政状況の公表に関する条例の定めるところにより、前年度の決算状況及び令和4年4月1日から令和4年9月30日までの財政状況を次のとおり公表します。

令和4年12月1日

都城市長 池田 宜永

令和3年度 一般会計歳入歳出決算

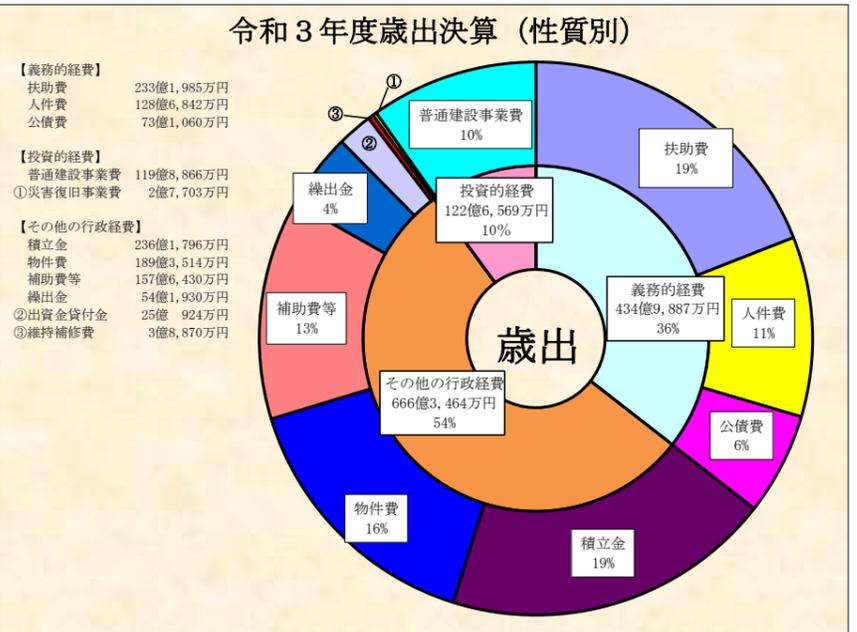
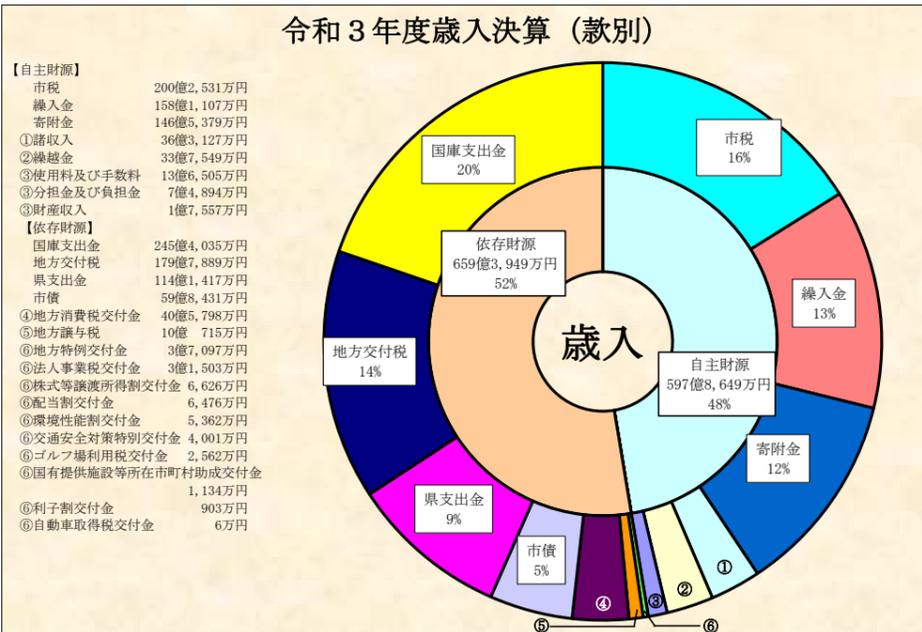
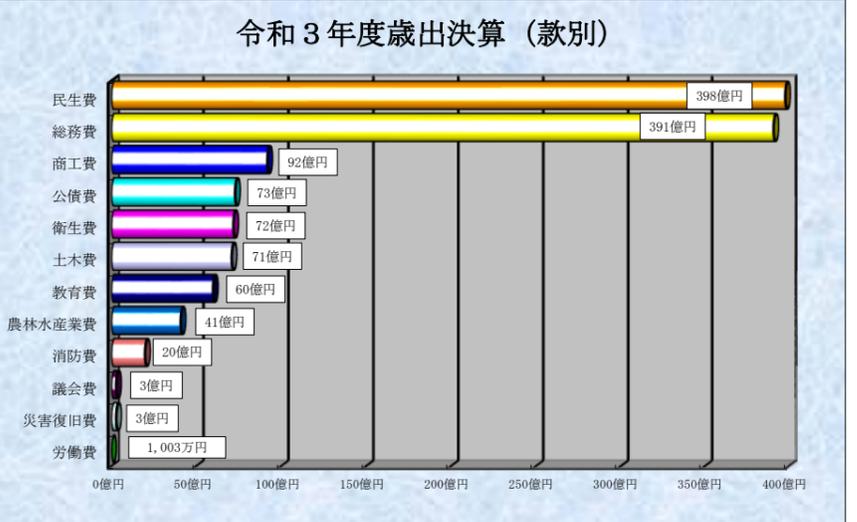
歳入決算総額 1,257億2,604万円 歳出決算総額 1,223億9,920万円

形式収支で33億2,684万円の黒字、実質収支では14億9,427万円の黒字決算となりました。

歳入



歳出



【主な用語の説明】

○歳入

- 【自主財源】・・・地方公共団体が自主的に収入しうる財源
- 市税・・・個人・法人市税、固定資産税、軽自動車税等
- 繰入金・・・一般会計・特別会計・基金等の会計間で相互にやりとりする資金
- 【依存財源】・・・国、県により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入
- 地方交付税・・・国税のうち所得税・法人税・酒税・消費税の一定割合及び地方交付税の全額を、一定の基準により国が交付する税
- 国庫支出金・・・特定目的事業の財源となる国の補助金等

○歳出（款）

- 民生費・・・高齢者、障がい者、児童等の福祉全般の事業経費
- 総務費・・・選挙、戸籍、徴税、市庁舎管理等の経費
- 商工費・・・商工業、観光振興等の経費
- 公債費・・・市債を返済するための経費
- 衛生費・・・清掃、保健衛生等の経費
- 土木費・・・道路、公園整備、住宅管理等の経費
- 教育費・・・教育、文化財保護、スポーツ振興等の経費
- 農林水産業費・・・農業振興、林業振興等の経費
- 消防費・・・消防事務、消防団活動等の経費
- 議会費・・・議会の活動等の経費
- 労働費・・・雇用促進等の経費

○歳出（性質）

- 扶助費・・・生活保護法、児童福祉法、老人福祉法等に基づき支給する経費
- 人件費・・・職員の報酬、特別職・一般職員・会計年度任用職員の給料・手当・共済費等
- 公債費・・・市債を返済するための経費
- 物件費・・・物品購入、光熱水費等公共料金、使用料、旅費、交際費、委託料等
- 補助費等・・・自動車重量税、負担金、補助金、国・県への返還金等
- 繰入金・・・一般会計・特別会計・基金等の会計間で相互にやりとりする資金
- 普通建設事業費・・・道路、橋りょう、学校等の公共用又は公用施設の建設経費
- 災害復旧事業費・・・大雨、暴風、地震等の災害により被災した施設の復旧のための経費

令和3年度一般会計決算における

民生費のうち65歳以上高齢者1人当りの老人福祉費	129,248円	市民1人当りの議会費	2,172円
衛生費のうち市民1人当りの清掃費(ごみ処理・し尿処理)	23,157円	市民1人当りの消防費	12,453円
農林水産業費のうち農家1戸当りの農業費	621,841円	市民1人当りの戸籍住民基本台帳費	9,476円
土木費のうち市民1人当りの道路橋りょう費	23,736円	市税の市民1人当りの負担額(市税・固定資産税等)	126,418円
土木費のうち市民1人当りの公園費	4,681円	地方交付税の市民1人当りの交付額	2,342円
教育費のうち小学生1人当りの小学校費	175,438円	市民1人当りの市債残高	437,337円
教育費のうち中学生1人当りの中学校費	182,074円	市民1人当りの交付税措置後の市債実質負担額	102,954円

この算出に用いた人口等は、国勢調査に基づく令和4年4月1日現在の推計人口(158,405人)、同日現在の65歳以上の住民基本台帳人口(51,751人)、2020世界農業センサスの農家数(5,460戸)、令和4年5月1日現在の学校基本調査の児童数(9,248人)、生徒数(4,602人)です。

令和3年度 特別会計決算

国民健康保険特別会計	収入済額	193億6,374万円	後期高齢者医療特別会計	収入済額	22億4,713万円	公設地方卸売市場事業特別会計	収入済額	1億3,854万円	収入済額	2,704万円	
	支出済額	189億6,568万円		支出済額	22億4,032万円		支出済額	1億3,854万円		支出済額	2,704万円
	差引残額	3億9,806万円		差引残額	681万円		差引残額	0万円		差引残額	0万円
工業用地造成事業特別会計	収入済額	2億5,313万円	介護保険特別会計	収入済額	183億6,560万円	電気事業特別会計	収入済額	9,262万円	収入済額	2,704万円	
	支出済額	2億5,309万円		支出済額	178億1,785万円		支出済額	7,626万円		支出済額	2,704万円
	差引残額	4万円		差引残額	5億4,775万円		差引残額	1,636万円		差引残額	0万円

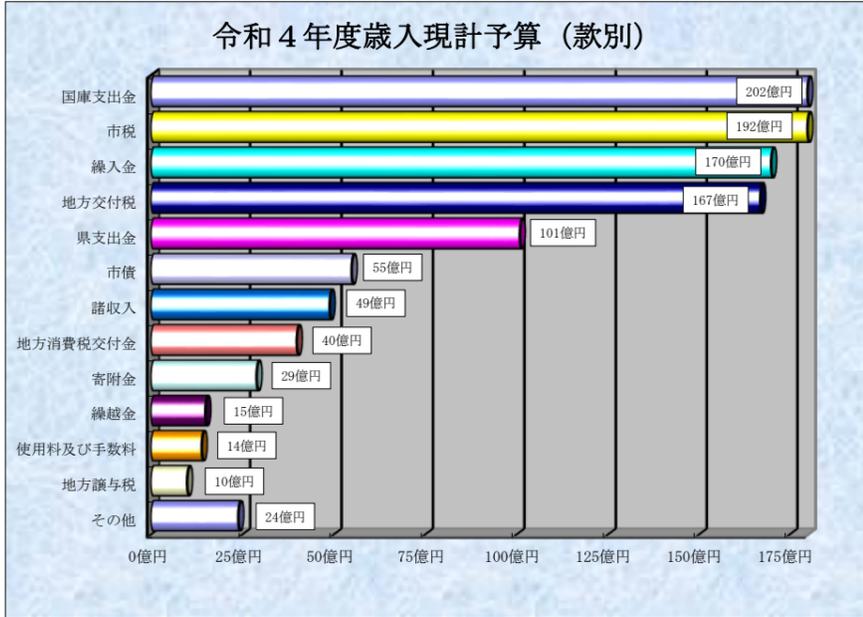
※端数処理の関係上、合計と一致しないことがあります。

令和4年度 現計予算

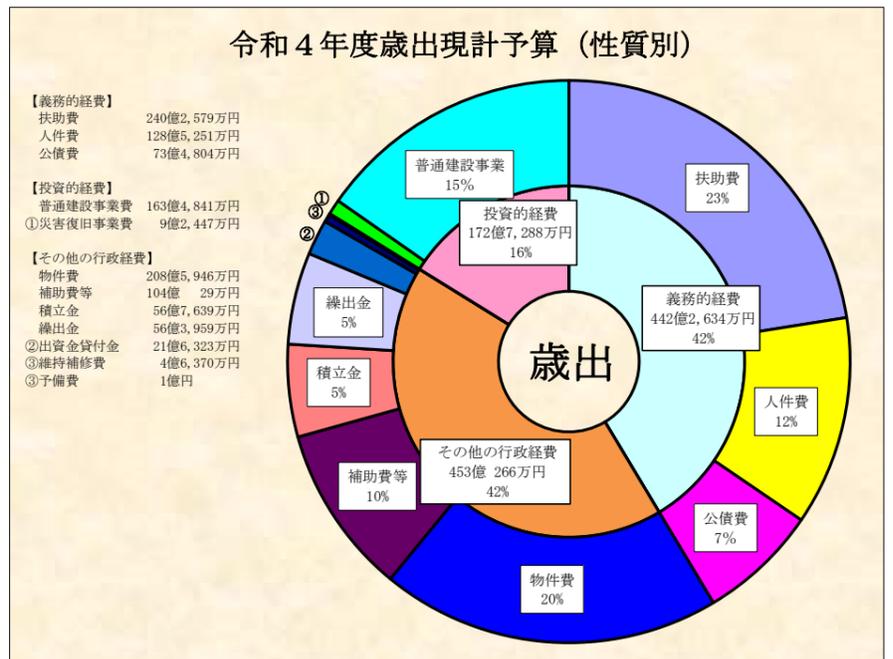
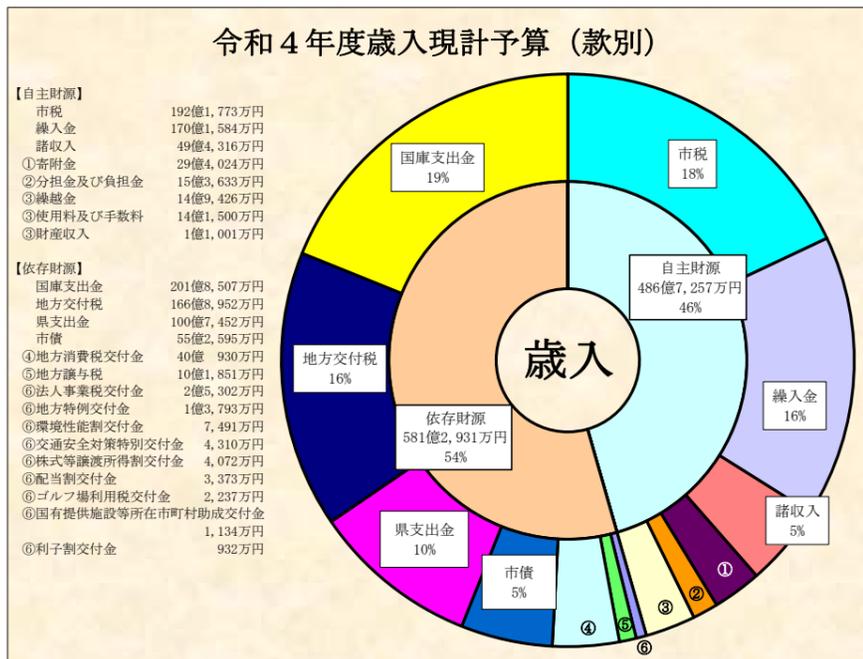
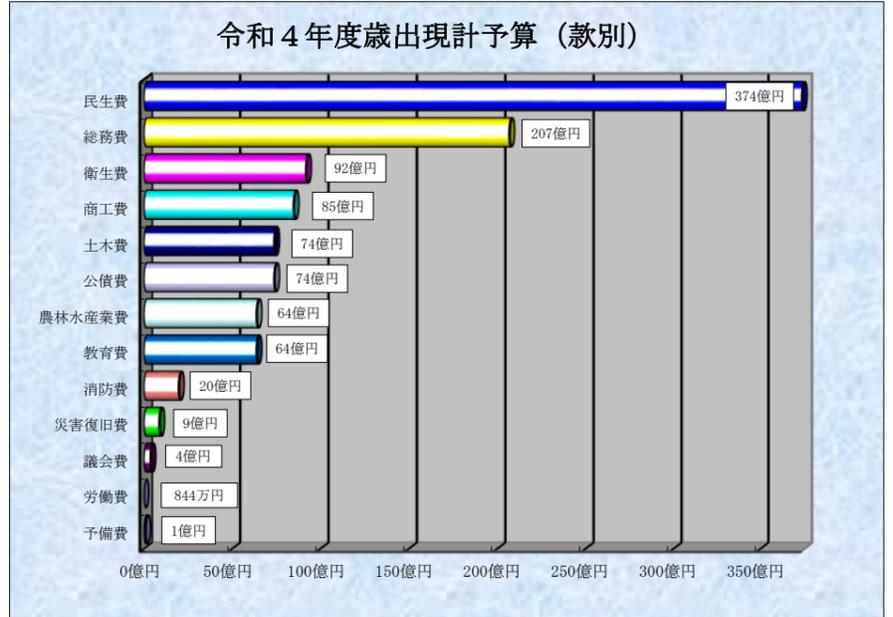
一般会計 1,068億188万円

当初予算額は、936億8,000万円でしたが、その後、9月補正(第8号)までで現計予算はこのようになりました。

歳入



歳出



特別会計 418億250万円

国民健康保険特別会計	196億5,730万円	後期高齢者医療特別会計	22億3,482万円	公設地方卸売市場事業特別会計	7,214万円	整備墓地特別会計	2,640万円
工業用地造成事業特別会計	3億4,511万円	介護保険特別会計	193億8,188万円	電気事業特別会計	8,486万円		

令和3年度末市債残高

会計名	現在高	交付税措置額	実質負担額
一般会計	692億7,634万円	529億6,796万円	163億 838万円
公設地方卸売市場事業	4億7,471万円	0万円	4億7,471万円
整備墓地	7,150万円	0万円	7,150万円
工業用地造成事業	18億4,748万円	0万円	18億4,748万円
電気事業	3億7,041万円	0万円	3億7,041万円
合計	720億4,044万円	529億6,796万円	190億7,248万円

一時借入金の状況

令和4年9月30日時点で、令和4年度会計に対する一時借入金はありません。

令和3年度一般会計決算を月々20万円の収入のある家計におきかえると・・・

○収入

項目	金額
給料	74,164円
うち基本給(市税等)	74,164円
うち諸手当(国庫支出金、地方交付税等)	85,795円
前月からの繰越金(繰越金)	5,369円
預金の取り崩し(繰入金)	25,152円
ローン借り入れ(市債)	9,520円
合計	200,000円

○支出

項目	金額
食費(人件費)	20,471円
医療費・保育料(扶助費)	37,096円
光熱水費、日用雑貨等(物件費)	30,121円
家の修理、家電製品の購入等(投資的経費、維持補修費)	20,130円
子どもへの仕送り等(繰出金、貸付金、補助費等)	37,022円
住宅ローン返済(公債費)	11,629円
預金(積立金)	37,571円
翌月への繰越金	5,960円
合計	200,000円

※端数処理の関係上、合計と一致しないことがあります。